

スーパースクールゾーン

高山地区を指定

生駒市、小中一貫校などで

生駒市と市教委は26日、市北部の高山地区を「スーパースクールゾーン」に指定し、市立生駒北小学校と市立生駒北中学校を施設一体型小中一貫校にし、市立高山幼稚園と私立の北倭保育園を統合して幼保連携型認定こども園を創設すると発表した。少子化対策で、一貫校は2016年4月の開校、こども園は17年4月の開園を目指す。

市によると、市全体では子育て世代の転入で子どもが増加しているものの、高

山地区では減少傾向が続いている。8年前に299人だった生駒北小は今年度2

20人に減り、5年後には203人になる見通し。生駒北中も同じく178人から127人になり、5年後には95人に半減する見込み。両校とも老朽化による施設改修の時期も迫っていることから、減少に歯止めをかけるため魅力ある学校づくりを考えたという。計画では、一貫校の建設

場所は現在の生駒北小の敷地。工事に備えて生駒北小は14年夏にいったん生駒北中に引越し、15年4月から一貫教育を始める。一方、こども園は生駒北中の跡地に建設し、学校給食セ

ンターの建設も予定している。このほか市立南幼稚園と市立みなみ保育園も幼保連携型の「南こども園」として16年4月、南幼稚園敷地内に開園する。